



波乱の人生を送った先人に思いを 築城400年記念講演会「秋の巻」開催



10月9日、ベルフォーレ津山で津山城築城400年記念講演会「秋の巻」が戦国史研究で有名な静岡大学教授の小和田哲男さんを迎えて開催されました。

「戦国武将森忠政とその時代」と題した講演では、忠政の父の時代から仕えた織田信長と森家のつながりや父と兄弟を失った後、家督を継いだ忠政が、豊臣家・徳川家に仕え戦国武将として、どのように生き抜いたかをわかりやすく説明。

参加した約500人の聴衆は、波乱の人生を送った森忠政に思いをはせて聴き入りました。

津山城築城400年記念特別展 「戦国武将森忠政展」開幕!!

10月9日から、津山郷土博物館で初代津山藩主・森忠政の特別展「戦国武将森忠政 津山城主への道 - 」が始まりました。

忠政ゆかりの品々や他の武将との親交がうかがえるものなど約60点の貴重な品々を展示。なかでも、小倉藩主・細川忠興から贈られた「細川家九曜紋入洋鐘」や秀吉から拝領したと伝えられる「天字大馬印」、実際に戦で使用されていた「森忠政所用甲冑」などは、訪れた人々の関心を集めていました。

この特別展は11月14日まで開催しています。



「ザ・ベスト・オブ能・狂言2004」出演メンバーにより 中学生が日本の古典芸能を体験



10月4日、北陵中学校で、全校生徒を対象に能と狂言のレクチャー - 公演が行われました。これは、日本の古典芸能について理解を深め親しんでもらおうと、同日津山文化センターで行われた「ザ・ベスト・オブ能・狂言2004」の出演者10人によって行われたものです。

同メンバーは、生徒たちに能と狂言の表現の違いや楽器についてわかりやすく説明。生徒たちは、狂言の笑い方の指導を受けたり楽器を触ったりするなど貴重な体験をしました。



にぎやかに晴れやかに

津山まつり開催



10月17日、24日の2週にわたり、秋を彩る津山まつりが盛大に開催されました。今年は津山城築城400年を記念し、みこしやだんじりも多数出動。だんじりを引く掛け声や鐘の音があちらこちらで響き、祭りの雰囲気にも包まれました。また、イベント会場では、祭りを祝う太鼓や踊りなどが催され、訪れた大勢の人でにぎわっていました。